

- 開催日時 令和3年7月8日(木)午後3時30分から
- 開催場所 大阪府咲州庁舎41階会議室(大) (オンライン会議)
- 出席委員 梶原委員、蔵治委員、栗山委員、千代松委員、鍋島委員、藤田委員、増田委員
以上7名(五十音順)

■審議議事要旨

□平成28年度から令和元年度までを徴収期間とする森林環境税による森林環境整備事業の令和2年度実績に係る評価について

(1) 危険渓流の流木対策事業

○第三者評価については、令和2年度事業は妥当である。

(2) 主要道路沿いにおける倒木対策事業

○第三者評価については、令和2年度事業は妥当である。

□平成28年度から令和元年度までを徴収期間とする森林環境税による森林環境整備事業の最終評価について

(1) 危険渓流の流木対策事業

○第三者評価については、事業実績及び事業効果は妥当である。

○治山ダムも森林整備も、災害の規模を軽減することはできるかもしれないが、災害を全くなくすということとはできないので、工事が行われたからといって安心しないでほしいということを、付帯意見として記載すること。

○減災意識の向上の評価項目について、防災教室の受講前後で意識の向上がどうなるかで評価されるのではないか。

○事業概要の資料中、減災、防災という言葉が混合して使用されているので整理すること。

(2) 主要道路沿いにおける倒木対策事業

○第三者評価については、事業実績及び事業効果は妥当である。

○放置竹林対策について、計画と実績に差があるが理由を説明いただきたい。

→平成30年度の台風21号で対策を予定していた竹林の、のり面が崩落し、道路管理者で対策したことから事業面積が減少しました。

(3) 持続的な森づくり推進事業(基盤づくり)

○第三者評価については、事業実績及び事業効果は妥当である。

○風倒木災害の風評被害があったため搬出量が少なくなったという説明ですが、レベルによっては簡単に解消しない問題と思われる。補足説明いただきたい。

→一度、風評被害が起こると長期化する懸念があるために搬出を控えた、ということです。

○過去の風評被害の長期化みたいなことも予測されるため、風評被害の解消に努める必要がある旨評価シートに記載すること。

(4) 持続的な森づくり推進事業（人材育成）

- 第三者評価については、事業実績及び事業効果は妥当である。
- 事業費のところ、リーダーの育成の人数は、毎年同じぐらいですけど、令和元年度に事業費がほかの年度よりかなり多くなっている理由について説明いただきたい。
→架線集材の実施研修におけるスイングヤードのレンタル代に経費がかかったものです。

(5) 持続的な森づくり推進事業（未利用木質財源活用）

- 第三者評価については、事業実績及び事業効果は妥当である。
- 中核団体の数というのは、増えたのでしょうか。
→計画としては、取組に参加していただく中核団体を、最終年度で6団体という目標を立てておりまして、実績も6団体です。

(6) 子育て施設木のぬくもり推進事業

- 第三者評価については、事業実績及び事業効果は妥当である。
- 事業費としては執行率が計画の6割だが、これについての認識を説明いただきたい。
→事業費の2分の1補助のため、園のほうで、それと同額プラス消費税分の予算を用意しないといけないため、実際には当初想定満額の事業申請が少なかったためです。

(7) 府の森林環境税の徴収、執行

- 令和2年度以降の事業は、防災対策事業と熱中症対策事業と2本立てですけど、それらに充当するという事なのではないでしょうか。
→2期事業の森林防災には充当しますが、暑熱には充当しないということです。

□令和2年度以降を徴収期間とする森林環境税による森林等環境整備事業の実施状況及び令和2年度実績に係る評価について

(1) 危険溪流の流木対策事業

- 第三者評価については、令和2年度事業は妥当である。

(2) 都市緑化を活用した猛暑対策事業

- 狭山駅の案件で、点字ブロックにかかる視覚障害者対応について説明していただきたい。
→点字ブロックをバス停ベンチから離すとともにプランターを外側へ移動し、通行の支障がない状態で暑熱環境の改善を維持する修繕をしました。
- 事業実施個所について、南部が多く北部が少ないようなので、北部もしっかり2次募集の宣伝をしていただきたい。
→2次募集にあたっては、特に北部地域に力をいれて進めてまいります。
- コロナで交通事業者がダメージを受けており、鉄道事業者とバス事業者は改修、投資意欲が少し落ちていると思うが、超過課税でもあり、今後の事業量の見込みについてお聞きしたい。
→事業者から、コロナが事業の取り組みに影響がでていることを聞いているが、今の状況が改善されれば、積極的に取組んでいきたいとの声もある。現時点では、当初予定量で進めさせていただければと考えています。
- リモートワークなどで働き方が変わると、コロナが収束しても、交通機関での通勤は減少する方向だと思うし、また高齢化社会も含めて、事業の目標に届かないかもしれないと危惧しているので、事業の方向性を考えておかないといけない。（要望）